

手話言語に関する アンケート結果

安城市役所障害福祉課

■発送日

令和5年1月10日(火) (回答期限:令和5年1月27日(金))

■発送件数

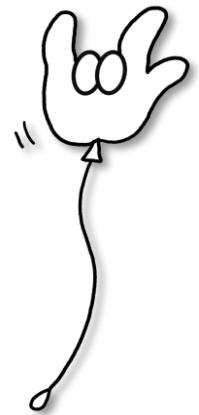
市内の身体障害者手帳(聴覚に関するもの)をお持ちの方 **491名**

■回答数

262件 (紙 234件 電子28件)

■回答率

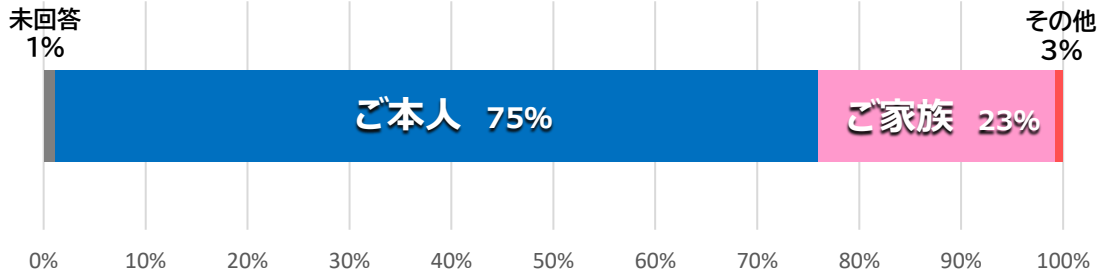
約53%



問1 このアンケートをご記入されたのはどなたですか。(1つ選択)

約75%の方が「ご本人」が回答

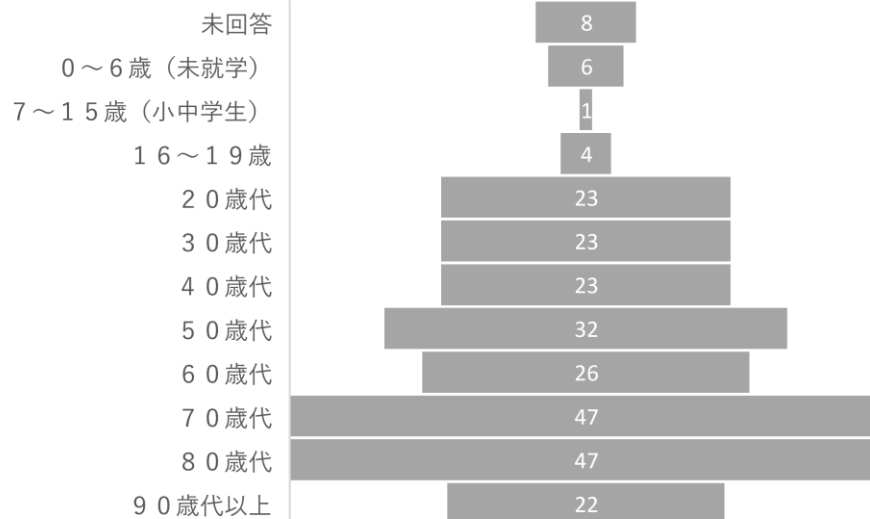
	回答数	割合
未回答	3	1%
ご本人	196	75%
ご本人のご家族	61	23%
その他(保佐人等)	2	1%
	262	100%



問2 あなたの年齢を教えてください。

60歳以上の方の回答が約54% 20歳代～50歳代の方の回答が39% 20歳未満の方の回答が約4%
若年層の回答が少なく、高齢者層の回答が多い結果となりました。

	回答数	割合
未回答	8	3%
0～6歳(未就学)	6	2%
7～15歳(小中学生)	1	0%
16～19歳	4	2%
20歳代	23	9%
30歳代	23	9%
40歳代	23	9%
50歳代	32	12%
60歳代	26	10%
70歳代	47	18%
80歳代	47	18%
90歳代以上	22	8%
	262	100%

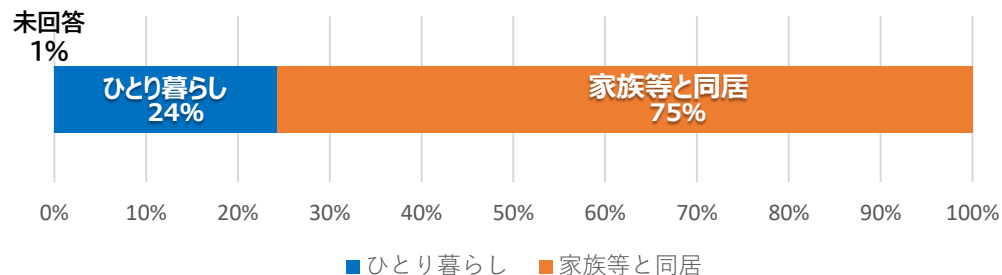


共通

問3 同居している家族構成を教えてください。(1つ選択)

「ひとり暮らし」の方が約24% 「家族等と同居」の方の回答が約75%でした。

	回答数	割合
未回答	2	1%
ひとり暮らし	63	24%
家族等と同居	197	75%
	262	100%

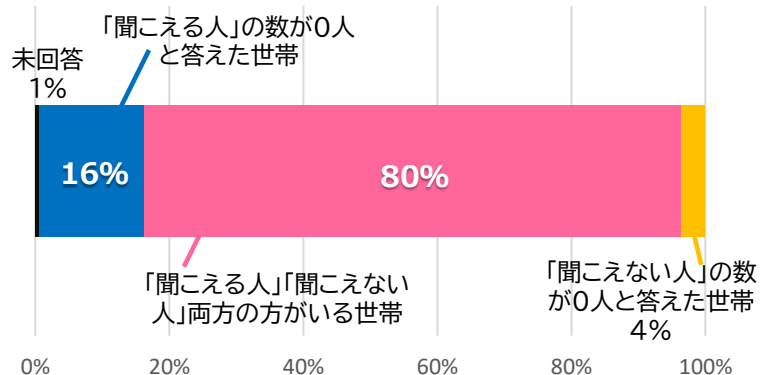


↓問3で「家族等と同居」と答えた方にお聞きします。

問4 家族等の中で、耳が聞こえる人、聞こえない人の人数を教えてください。

「聞こえる人」の数が0人と答えた世帯が約16% 両方の方がいる世帯が約80%でした。

	回答数	割合
未回答	1	1%
「聞こえる人」の数が0人と答えた世帯	31	16%
「聞こえる人」「聞こえない人」両方の方がいる世帯	158	80%
「聞こえない人」の数が0人と答えた世帯	7	4%
	197	100%



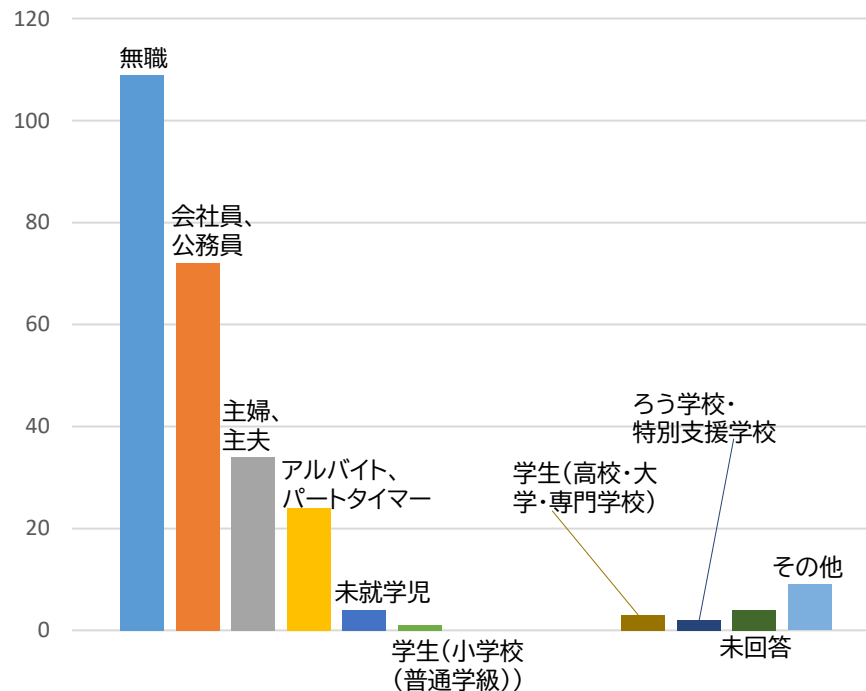
共

通

問5 あなたの職業は何ですか。(主なものにチェック)

問1により回答者の割合が、60歳以上の方が多いため「無職」と回答した方が一番多い約42%、「会社員・公務員」と回答した方が2番目に多い約27%、3番目に多かったのは「主婦・主夫」の約13%でした。

	回答数	割合
無職	109	42%
会社員、公務員	72	27%
主婦、主夫	34	13%
アルバイト、パートタイマー	24	9%
未就学児	4	2%
学生(小学校(普通学級))	1	0%
学生(小学校(特別支援学級))	0	0%
学生(中学校(普通学級))	0	0%
学生(中学校(特別支援学級))	0	0%
学生(高校・大学・専門学校)	3	1%
ろう学校・特別支援学校	2	1%
未回答	4	2%
その他	9	3%
	262	100%

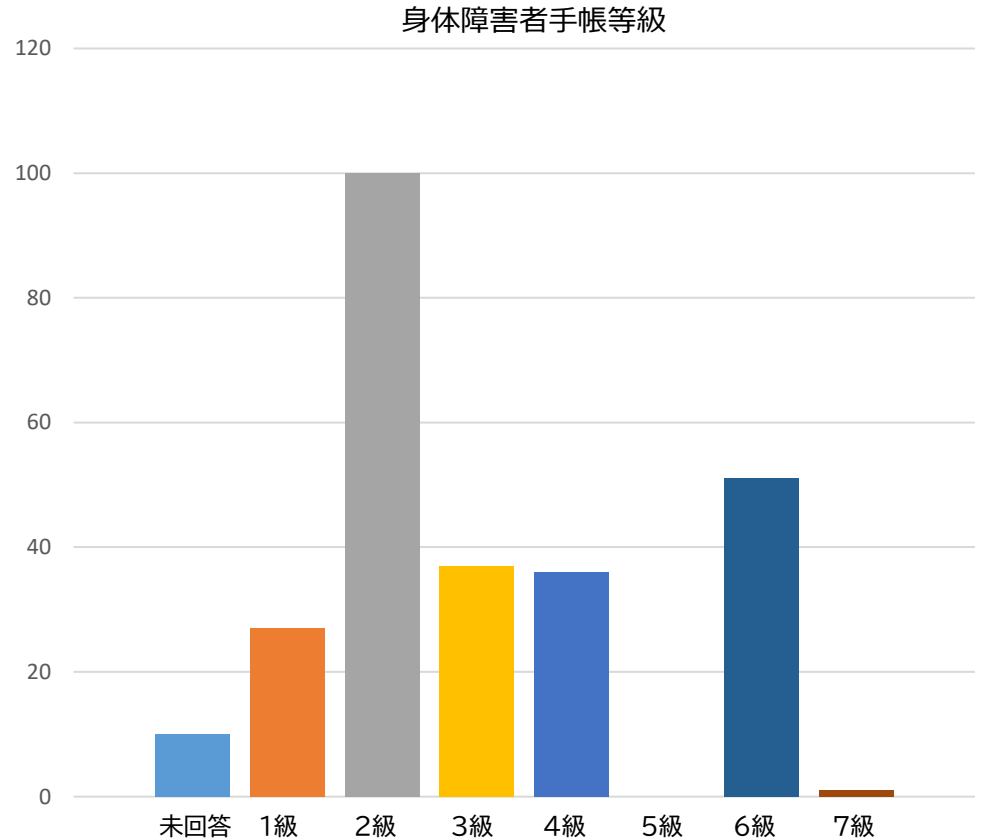


◆ 「その他」として回答があったもの・・・農業、自営業(飲食)、就労支援事業所 等

問6 障害者手帳の等級を教えてください。(等級を記入)

身体障害者手帳の等級で2級の方が約38%で一番多く、3級と4級がそれぞれ約14%で2番目に多い結果となりました。

	回答数	割合
未回答	10	4%
1級	27	10%
2級	100	38%
3級	37	14%
4級	36	14%
5級	0	0%
6級	51	19%
7級	1	0%
	262	100%

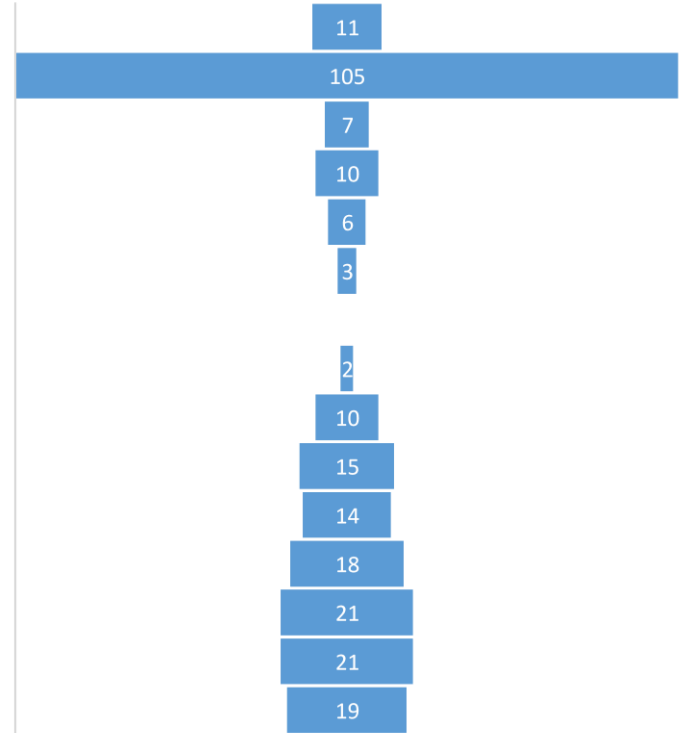


共通

問7 あなたはいつから耳が聞こえなくなりましたか。(1つ選択)

「0～3歳から」が全体の約40%と1番多くを占める結果となりました。

	回答数	割合
未回答	11	4%
0～3歳	105	40%
4～6歳(保育園、幼稚園)	7	3%
7～9歳(小学校低学年)	10	4%
10～12歳(小学校高学年)	6	2%
13～15歳(中学校)	3	1%
16～18歳(高校)	0	0%
19歳～20歳	2	1%
21～30歳	10	4%
31～40歳	15	6%
41～50歳	14	5%
51～60歳	18	7%
61～70歳	21	8%
71～80歳	21	8%
その他	19	7%
	262	100%

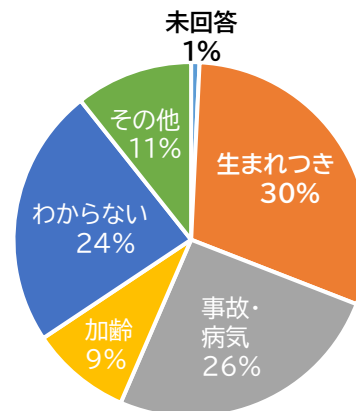


◆ 「その他」として回答があったもの・・・生まれつき(複数回答あり)、80歳以上になってから、左耳と右耳で異なる、不明 等

問8 耳が聞こえない、聞こえなくなった原因は何ですか。(1つ選択)

「生まれつき」と回答した方が約30%で一番多く、
「事故・病気」と回答した方約26%で2番目に多い結果となりました。

	回答数	割合
未回答	2	1%
生まれつき	79	30%
事故・病気	67	26%
加齢によるもの	24	9%
わからない	62	24%
その他	28	11%
	262	100%

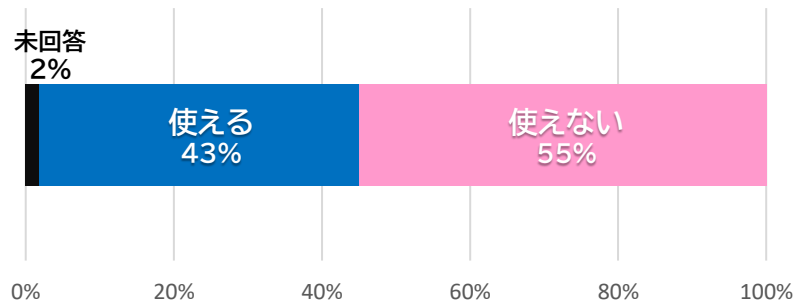


◆ 「その他」として回答があったもの…突発性難聴、遺伝、突然の高熱、耳鳴り、中耳炎 等

問9 あなたは手話が使えますか。(1つ選択)

「使える」と回答した方が113人(約43%)、「使えない」と回答した方の回答が144人(約55%)でした。

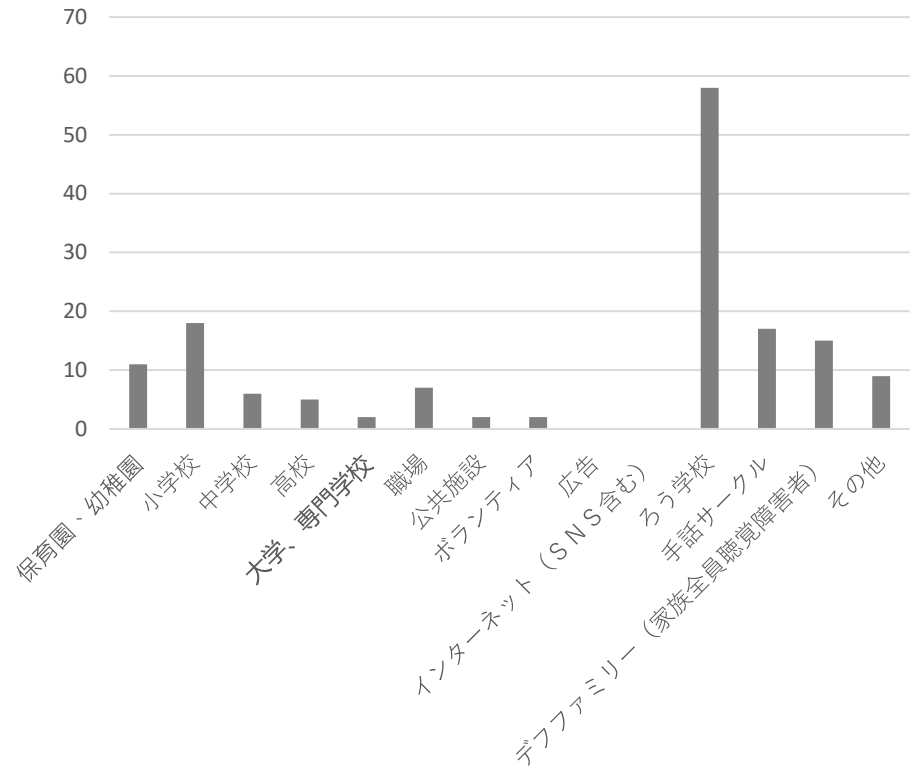
	回答数	割合
未回答	5	2%
使える → 問10から問22までお答えください。	113	43%
使えない → 問23をお答えください。	144	55%
	262	100%



問10 手話を知ったきっかけは何ですか。(いくつでも)

「ろう学校」と回答した方が**58件**(回答全体の**約38%**)と1番多く、「小学校」と回答した方が**18件**(回答全体の**約26%**)、「手話サークル」と回答した方が**17件**(回答全体の**約11%**)と続いて多い結果となりました。

	回答数	割合
保育園、幼稚園	11	7%
小学校	18	12%
中学校	6	4%
高校	5	3%
大学、専門学校	2	1%
職場	7	5%
公共施設	2	1%
ボランティア	2	1%
広告	0	0%
インターネット(SNS含む)	0	0%
ろう学校	58	38%
手話サークル	17	11%
デフファミリー(家族全員聴覚障害者)	15	10%
その他	9	6%
	152	100%



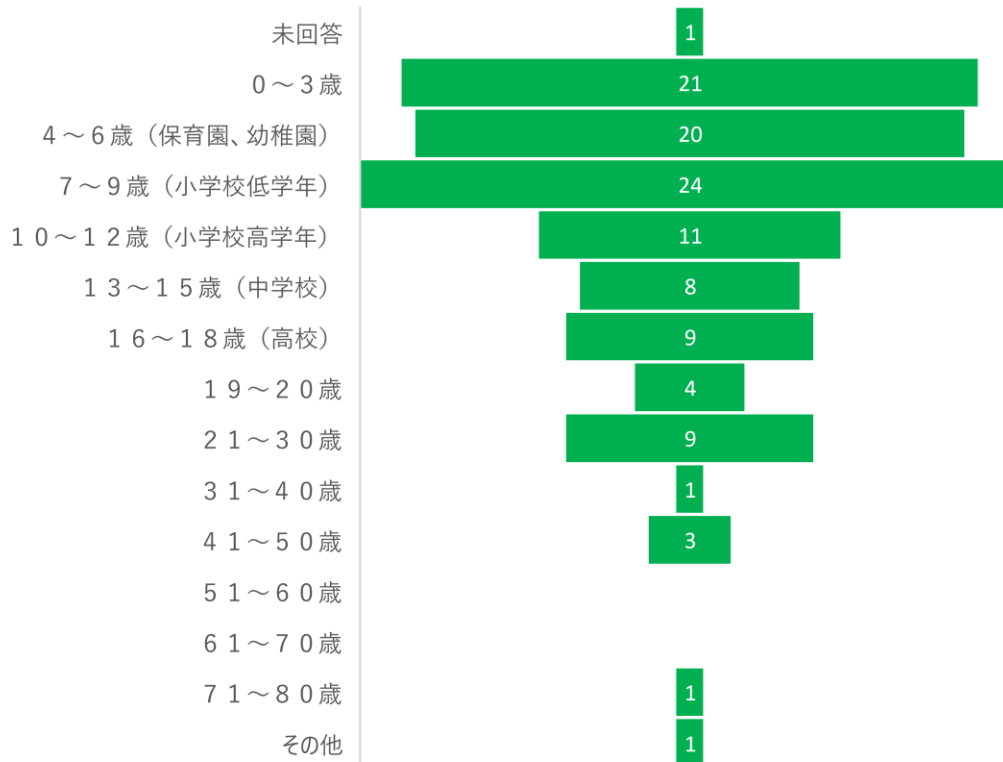
◆ 「その他」として回答があったもの…母、祖母、寄宿舍、テレビ手話講座、映画・ドラマ、障害福祉施設、市役所の福祉課のイベント 等

問9で「手話を使える」と答えた方

問11 手話を覚え始めたのはいつからですか。(1つ選択)

「未就学」の時期に覚え始めたと回答した方が約36%、「小学校～中学校」の時期に覚え始めたと回答した方約38%、全体の約86%の方が20歳までに覚え始めたと回答しています。

	回答数	割合
未回答	1	1%
0～3歳	21	19%
4～6歳(保育園、幼稚園)	20	18%
7～9歳(小学校低学年)	24	21%
10～12歳(小学校高学年)	11	10%
13～15歳(中学校)	8	7%
16～18歳(高校)	9	8%
19～20歳	4	4%
21～30歳	9	8%
31～40歳	1	1%
41～50歳	3	3%
51～60歳	0	0%
61～70歳	0	0%
71～80歳	1	1%
その他	1	1%
	113	100%



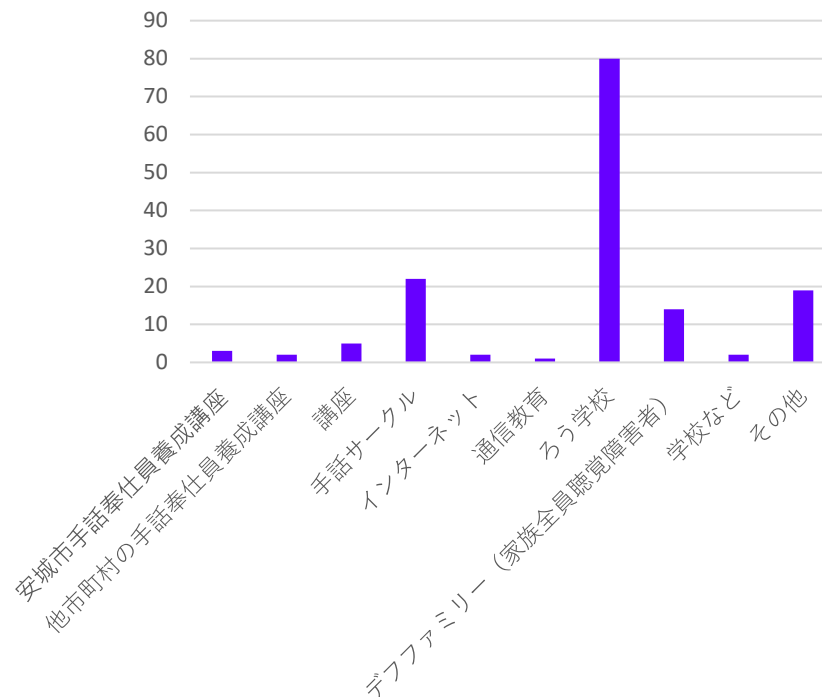
問9で「手話を使える」と答えた方

◆ 「その他」として回答があったもの…ろう学校に入ったとき手まねでコミュニケーションをとっている先輩を見て

問12 手話を覚えた(身に付けた)ところはどこですか。(いくつでも)

「ろう学校」と回答した方が**80件**(回答全体の**約53%**)と1番多く、「手話サークル」と回答した方が**22件**(回答全体の**約15%**)、「その他」と回答した方が**19件**(回答全体の**約13%**)と続いて多い結果となりました。

	回答数	割合
安城市手話奉仕員養成講座	3	2%
他市町村の手話奉仕員養成講座	2	1%
講座	5	3%
手話サークル	22	15%
インターネット	2	1%
通信教育	1	1%
ろう学校	80	53%
デフファミリー(家族全員聴覚障害者)	14	9%
学校など	2	1%
その他	19	13%
	150	100%



◆ 「その他」として回答があったもの…

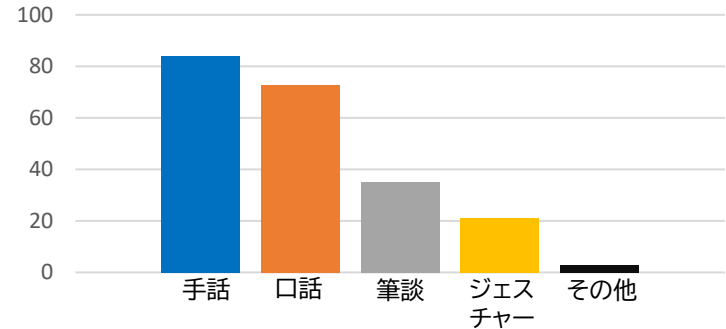
「家族が使っていた」(**複数回答あり**)、デフファミリーとの交流、「職場のろう者達と」、会社の手話サークル、「友人との交流を通じて」、「自分の声が変わらなくなった。通じなくなってから覚えた。」、「難聴になってから。独学(健聴時)」、寄宿舍、障害福祉施設 等

問9で「手話ができる」と答えた方

問13 家庭などでよく使う会話方法は何ですか。(いくつでも)

「問9で“手話ができる”と答えた方」の家庭などでよく使う会話は、「手話」が**84件(回答全体約39%)**と1番多い結果となりました。

	回答数	割合
手話	84	39%
口話	73	34%
筆談	35	16%
ジェスチャー	21	10%
その他	3	1%
	216	100%

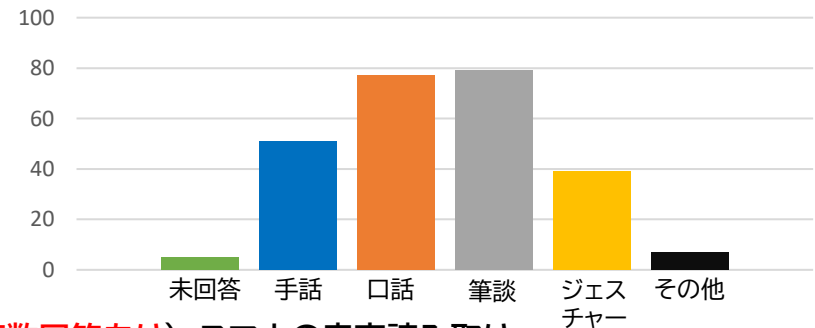


◆ 「その他」として回答があったもの…スマホ(UDトーク)、触手話、指文字

問14 学校や職場でよく使う会話方法は何ですか。(いくつでも)

「問9で“手話ができる”と答えた方」の学校や職場などでよく使う会話は、「筆談」が**79件(回答全体約31%)**と1番多く、「口話」が**77件(回答全体の約30%)**と2番目に多い結果となりました。

	回答数	割合
未回答	5	2%
手話	51	20%
口話	77	30%
筆談	79	31%
ジェスチャー	39	15%
その他	7	3%
	258	100%



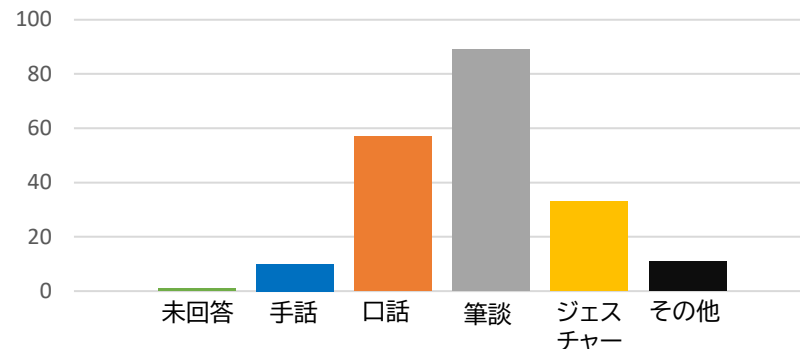
◆ 「その他」として回答があったもの…スマホ(UDトーク)(**複数回答あり**)、スマホの音声読み取り、タブレットに寄る変換により筆記 等

問9で“手話ができる”と答えた方

問15 買い物など外出時によく使う会話方法は何ですか。(いくつでも)

「問9で“手話ができる”と答えた方」の買い物など外出時によく使う会話は、「筆談」が89件(回答全体約44%)と1番多く、「口話」が57件(回答全体の約28%)と2番目に多い結果となりました。

	回答数	割合
未回答	1	0%
手話	10	5%
口話	57	28%
筆談	89	44%
ジェスチャー	33	16%
その他	11	5%
	201	100%



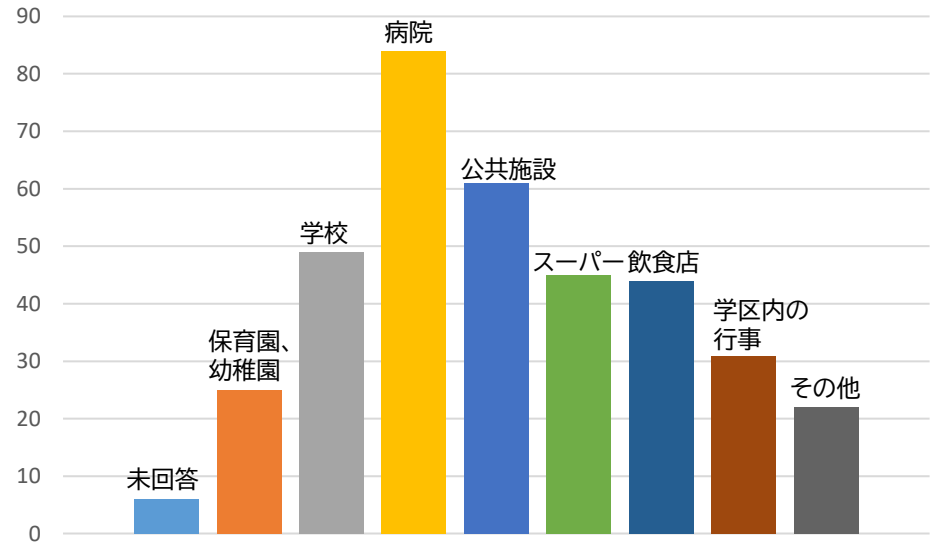
- ◆ 「その他」として回答があったもの・・・
 スマホ(UDトーク)、スマホの音声読み取り、タブレットに寄る変換により筆記、触手話(通訳介助員と同行)、事前にアプリ(メモ)に書いて見せる、家族と行くので使わない 等

問9で“手話ができる”と答えた方

問16 あなたが特に手話が必要と思う場面はどこですか。(いくつでも)

「問9で“手話ができる”と答えた方」が特に手話が必要と思う場面は、「病院」が84件(回答全体約23%)と1番多く、「公共施設」が61件(回答全体の約17%)と2番目に多い結果となりました。

	回答数	割合
未回答	6	2%
保育園、幼稚園	25	7%
学校	49	13%
病院	84	23%
公共施設	61	17%
スーパー	45	12%
飲食店	44	12%
学区内の行事	31	8%
その他	22	6%
	367	100%



問9で“手話ができる”と答えた方

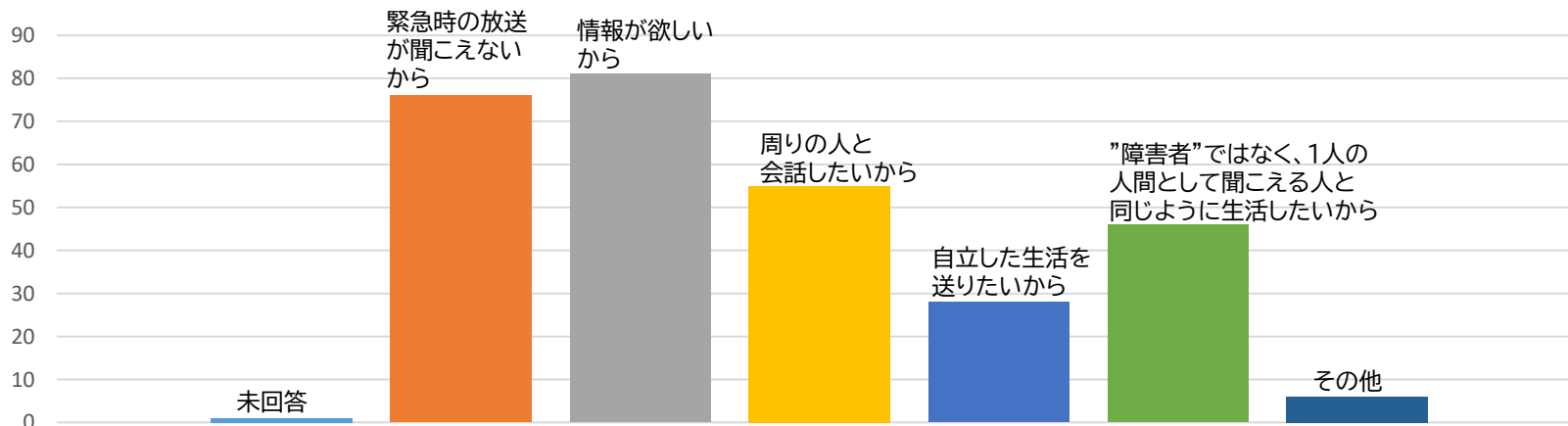
◆ 「その他」として回答があったもの…

家庭内(複数回答あり)、公共交通機関(駅、バス営業所窓口) (複数回答あり)、会社、町内行事、家に人が来たとき(客、業者)、集団で話し合う場、会社での講座や大事な話のとき、人工内耳を外しているとき(雑音下)、アナウンス、特養施設、自動車学校、聾者との会話、騒がしいところ 等

問17 あなたが手話を必要とするのはなぜですか。(いくつでも)

「問9で“手話ができる”と答えた方」が手話を必要とする理由は、「情報が欲しいから」が**81件**(回答全体約**28%**)と1番多く、「緊急時の放送が聞こえないから」が**76件**(回答全体の約**26%**)と2番目に多い結果となりました。

	回答数	割合
未回答	1	0%
緊急時の放送が聞こえないから	76	26%
情報が欲しいから	81	28%
周りの人と会話したいから	55	19%
自立した生活を送りたいから	28	10%
”障害者”ではなく、1人の人間として聞こえる人と同じように生活したいから	46	16%
その他	6	2%
	293	100%



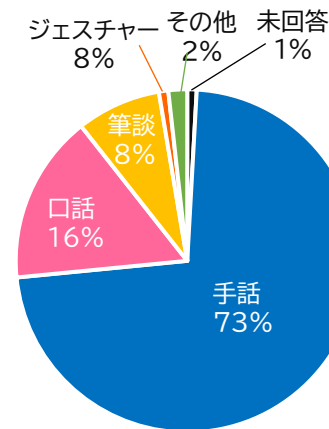
◆ 「その他」として回答があったもの…会社・職場のコミュニケーション、声を出したくないこともあるから 等

問9で“手話ができる”と答えた方

問18 あなたが日常生活で1番会話しやすい会話方法は何ですか。(1つ選択)

「問9で“手話ができる”と答えた方」は、**約73%**の方が
手話が1番会話しやすい方法と回答しました。

	回答数	割合
未回答	1	1%
手話	82	73%
口話	18	16%
筆談	9	8%
ジェスチャー	1	1%
その他	2	2%
	113	100%

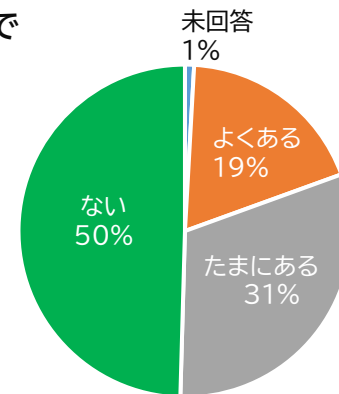


◆ 「その他」として回答があったもの…触手話、「1(手話)、2(口話)、3(筆談)がベスト」

問19 あなたは手話を使う時に嫌な思いを感じたことがありますか。(1つ選択)

「よくある」「たまにある」と回答した方の合計は**約50%**、「ない」と回答した方は、**約50%**で
およそ半数の方が嫌な思いを感じたことがあると回答しました。

	回答数	割合
未回答	1	1%
感じたことがある(よくある)	21	19%
感じたことがある(たまにある)	35	31%
感じたことはない	56	50%
	113	100%



問9で“手話ができる”と答えた方

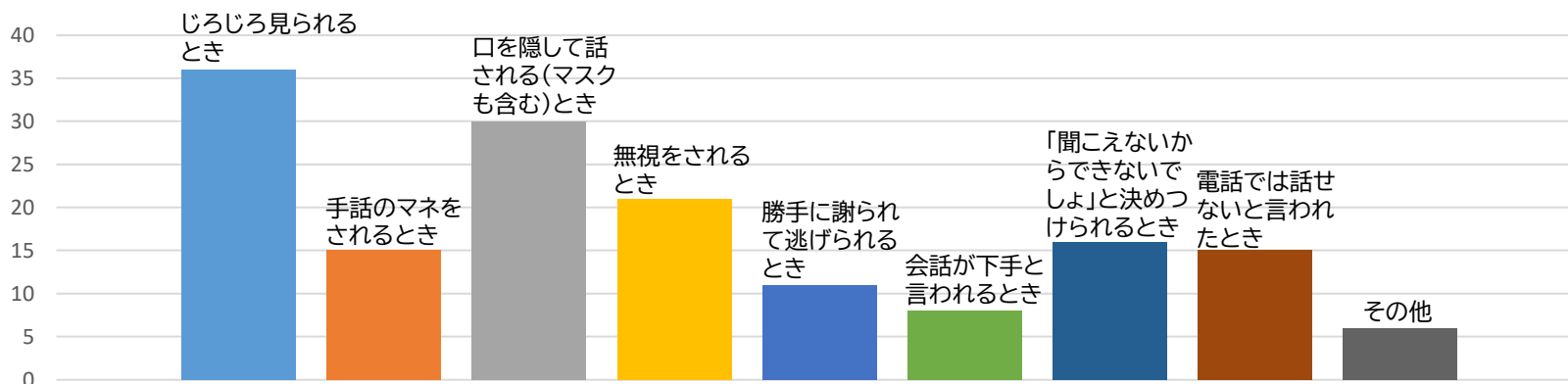
↓問19で“感じたことがある”と答えた方にお聞きします。

問20 どのようなときに感じましたか。(いくつでも)

「問19で“感じたことがある”と答えた方(56名)」がどのようなときであったかは、「じろじろ見られるとき」が**36件**(回答全体**約23%**)と1番多く、「口を隠して話される(マスクも含む)とき」が**30件**(回答全体の**約19%**)と2番目に多い結果となりました。

	回答数	割合
じろじろ見られるとき	36	23%
手話のマネをされるとき	15	9%
口を隠して話される(マスクも含む)とき	30	19%
無視をされるとき	21	13%
勝手に謝られて逃げられるとき	11	7%
会話が下手と言われるとき	8	5%
「聞こえないからできないでしょ」と決めつけられるとき	16	10%
電話では話せないと言われたとき	15	9%
その他	6	4%
	158	100%

◆「その他」として回答があったもの・・・
 筆談で対応してくれない、そっけない態度をとる、説明が簡素になる、自分の筆談用メモをたくさん使われた、話を途中で止められたとき、手話のマネ(相手をバカにしている感じ)、「マスクを外してください」と言っても外してくれないとき、何を言っているかわからないと言われたとき、なかなか通じないのでイライラする 等



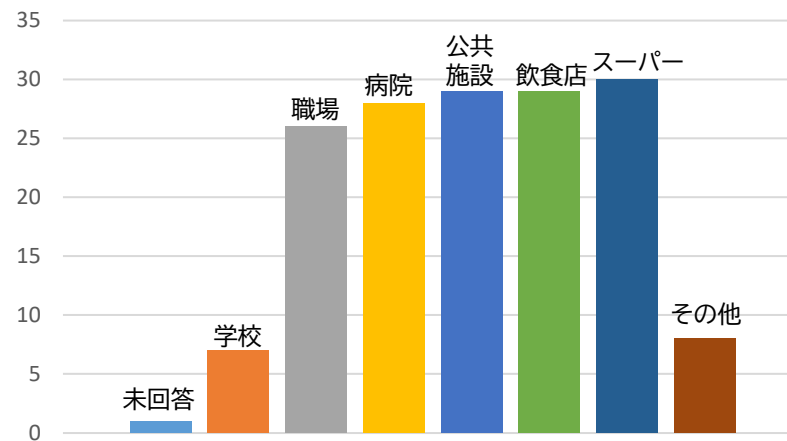
問9で“手話が使えない”と答えた方

↓問19で“感じたことがある”と答えた方にお聞きします。

問21 どのような場所で感じられましたか。(いくつでも)

「問19で“感じたことがある”と答えた方(56名)」がどのような場所であったかは、「スーパー」が**30件**(回答全体**約19%**)と1番多く、「公共施設」「飲食店」がそれぞれ**29件**(回答全体の**約18%**)と2番目に多く、「病院」が**28件**(回答全体の**約18%**)、「職場」が**26件**(回答全体の**約16%**)と続き、「学校」以外はほぼ同数の結果となりました。

	回答数	割合
未回答	1	1%
学校	7	4%
職場	26	16%
病院	28	18%
公共施設	29	18%
飲食店	29	18%
スーパー	30	19%
その他	8	5%
	158	100%



◆ 「その他」として回答があったもの…

交通機関(複数回答)、携帯ショップ、習い事スタッフ、補聴器専門店、入居施設、飲食店以外の店(電器店など)、筆談するけど苦手 等

問9で“手話ができる”と答えた方

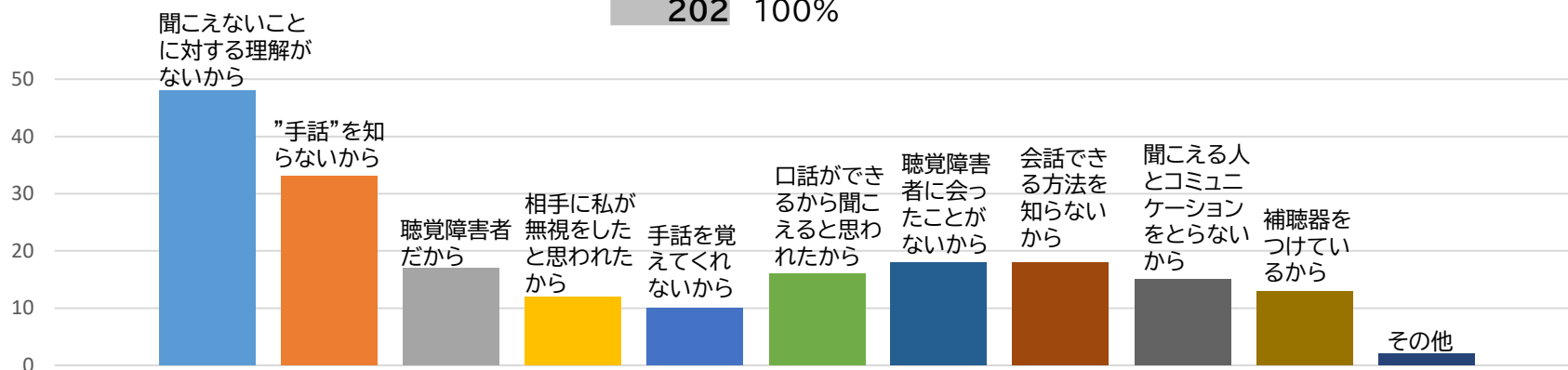
↓問19で“感じたことがある”と答えた方にお聞きします。

問22 そのようなことが起こる理由はなぜだと思いますか。(いくつでも)

「聞こえないことに対する理解がないから」が**48件**(回答全体約**24%**)と1番多く、
 「”手話”を知らないから」が**33件**(回答全体の約**16%**)と2番目に多い結果となりました。

	回答数	割合
聞こえないことに対する理解がないから	48	24%
”手話”を知らないから	33	16%
聴覚障害者だから	17	8%
相手に私が無視をしたと思われたから	12	6%
手話を覚えてくれないから	10	5%
口話ができるから聞こえると思われたから	16	8%
聴覚障害者に会ったことがないから	18	9%
会話できる方法を知らないから	18	9%
聞こえる人とコミュニケーションをとらないから	15	7%
補聴器をつけているから	13	6%
その他	2	1%
	202	100%

◆ 「その他」として回答があったもの…
 面倒くさいから、時間がかかる、
 困っているとは気づいていないから、
 筆談で十分と思われているから 等



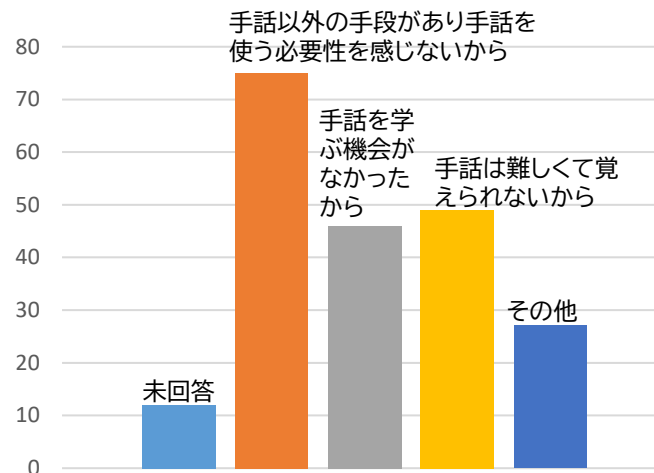
問9で“手話を使える”と答えた方

↓問9で手話が“2.使えない”と答えた方にお聞きします。

問23 手話が使えない理由は何ですか。(いくつでも)

「手話以外の手段があり手話を使う必要性を感じないから」が75件(回答全体約36%)と1番多く、「手話は難しくて覚えられないから」が49件(回答全体の約22%)と2番目に多い結果となりました。

	回答数	割合
未回答	12	6%
手話以外の手段があり手話を使う必要性を感じないから	75	36%
手話を学ぶ機会がなかったから	46	22%
手話は難しくて覚えられないから	49	23%
その他	27	13%
	209	100%



◆ 「その他」として回答があったもの・・・

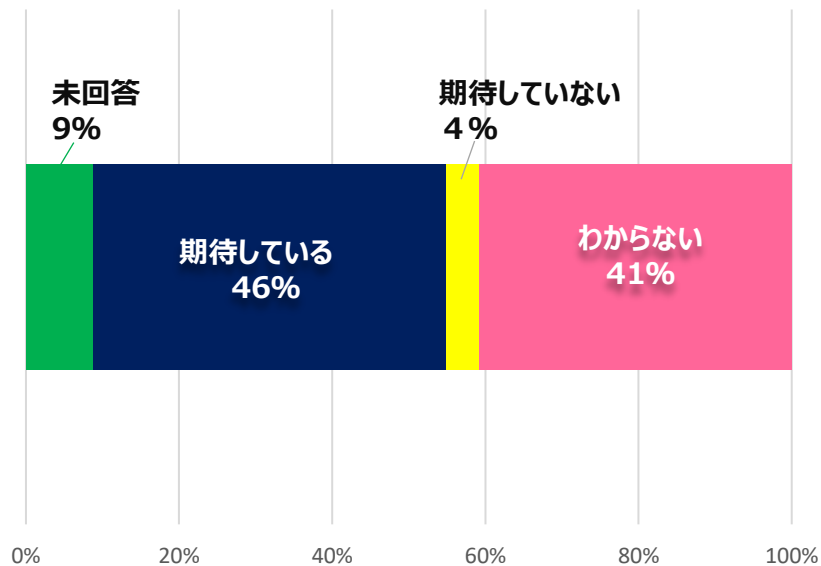
「補聴器を使えば聞こえるため(複数回答)」、「まだ小さいから。これから覚え始める予定。」、「右が聞こえていたので、必要に感じなかった。」、「70代後半になって聞こえなくなり、覚えるのが大変」、「家の者が大声で伝えてくれるから。」、「メモを使っていやりとりできている」、「聞く方は筆談でOK。自分が話す方は問題なしに通じる。」、等

問9で“手話が使えない”と答えた方

問24 あなたは安城市手話言語条例の制定についてどう思いますか。(1つ選択)

約46%の方が「期待している」と回答しました。

	回答数	割合
未回答	23	9%
期待している → 問25をお答えください。	121	46%
期待していない → 問26をお答えください。	11	4%
わからない → 問26をお答えください。	107	41%
	262	100%



共通

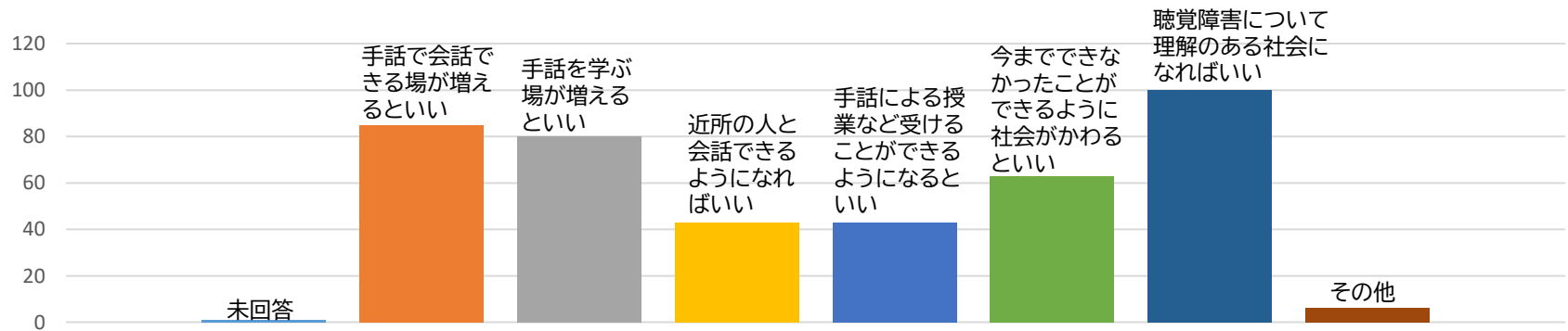
↓問24で“期待している”と答えた方にお聞きします。

問25 あなたが安城市手話言語条例の制定に期待することは何ですか。(いくつでも)

「聴覚障害について理解のある社会になればいい」が**100件**(回答全体約**24%**)と1番多く、
 「手話で会話できる場が増えるといい」が**85件**(回答全体の約**20%**)と2番目に多い結果となりました。

	回答数	割合
未回答	1	0%
手話で会話できる場が増えるといい	85	20%
手話を学ぶ場が増えるといい	80	19%
近所の人と会話できるようになればいい	43	10%
手話による授業など受けることができるようになるといい	43	10%
今までできなかったことができるように社会が変わるといい	63	15%
聴覚障害について理解のある社会になればいい	100	24%
その他	6	1%
	421	100%

◆「その他」として回答があったもの…
 「すぐに変わるとは思わないが期待したい！」等



問24で“期待している”と答えた方

↓問24で“期待していない”“わからない”と答えた方にお聞きします。

問26 あなたが安城市手話言語条例の制定に期待していない理由は何ですか。(いくつでも)

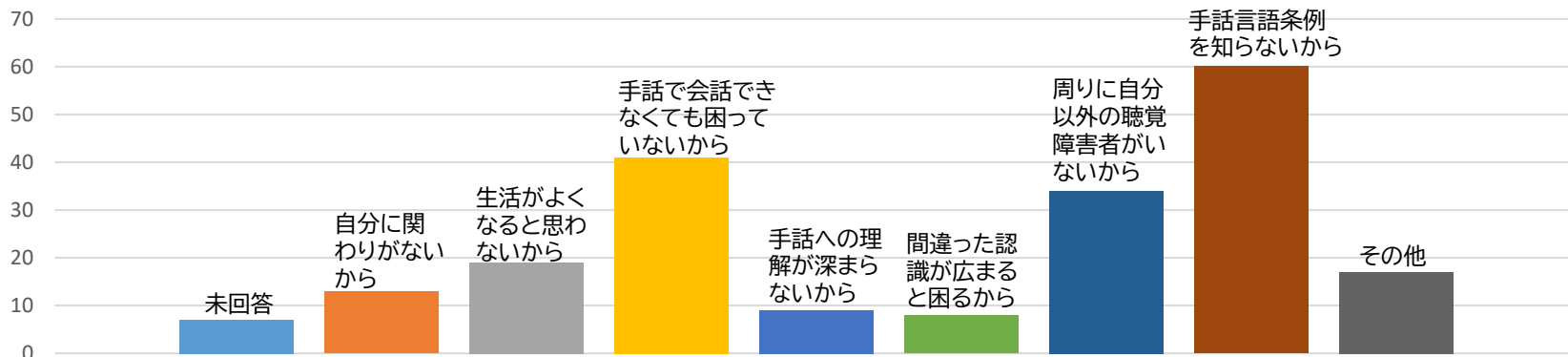
「手話言語条例を知らないから」が60件(回答全体約29%)と1番多く、
 「手話で会話できなくても困っていないから」が41件(回答全体の約20%)と2番目に多い結果となりました。

問24で“期待していない”“わからない”と答えた方

	回答数	割合
未回答	7	3%
自分に関わりがないから	13	6%
生活がよくなると思わないから	19	9%
手話で会話できなくても困っていないから	41	20%
手話への理解が深まらないから	9	4%
間違った認識が広まると困るから	8	4%
周りに自分以外の聴覚障害者がいないから	34	16%
手話言語条例を知らないから	60	29%
その他	17	8%
	208	100%

◆「その他」として回答があったもの…
 「補聴器で相手の声・話は理解できる」
 「補聴器があるから」「他の人と会話できているので大丈夫かなと思います」「年齢が多いから新しいことに関心がない」「あまり知らないから」

等



問27 その他ご意見などがあれば自由にお書きください。

※提出されたご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しております。

◆自由記載意見(その1)

- ・私の若い頃に比べたら手話を目にする機会がぐっと増え少し認識が深まっていると思います。しかし、まだまだ聴覚障害者の活躍の場は狭いのではないかと考えています。少しでも社会への参加の道が広がる事を願っています。
- ・手話が出来るといろいろな人と話ができ、楽しいと思う。
- ・聞こえる人と同じ様に好きな仕事を選びたい。同じ趣味を持つてる友達がほしい。(聞こえる人間聞こえない人関係なく)
- ・学校の授業として取り入れる位がよいのでは…社会人になってからは時間も厳しくなる。
- ・「手話は言語」であるならば、どうか人生の途中で聞こえなくなった中途失聴者、聞こえにくくなった難聴者が手話を学べる場を作ってください。全ての人々が分かり合い、心豊かに共生する事ができる社会のために。現在の手話講座は聴者を対象とし、手話通訳者の育成を目的としています。
- ・今まで余り手話について考える事はありませんでしたが、自分でも少しでも手話が話せるようになりたいなあと思います。時間がかかっても1つ1つ覚えることができれば。
- ・聴覚障害者をろう者という記すのは誤解されると思う。聴覚障害者→①ろう者、②ろうあ者③難聴者・中途失聴者がいて、①②→手話(主に)必要、③筆談(主に)が必要、④講演会の等の時はろう者 ろうあ者→手話通訳が必要 難聴者・中途失聴者→要約筆記が必要。一般の方に理解しやすくしてほしい。
- ・耳が聞こえる聞こえないに関わらず「言語」として、小学校からの教育機関で誰もが学ぶものとして扱ってほしい。そうすれば健常者同士でも静かな場所では手話を介して会話をするなど、手話を外で使うことに抵抗がなくなるのにと残念でなりません。現段階では手話は耳の聞こえない人達のための言語というのが強く根付いてしまっている気がする。自身もその固定観念に捉われて、なぜせつかく健常者でいれているのになぜ手話を勉強するのかという目で見えてしまうことがある。
- ・高齢になり、手話を覚えることが難しくなっています。TVは字幕付きで問題少なく、家では大きな声、補聴器のおかげでほぼ日常生活は問題ありません。補聴器も良くなっておりますが、高額なため、少しでも補助があるとありがたいと思います。
- ・娘が大きくなる頃には、手話が減ってしまう心配がありますが、今のうちに色々な事を学んでほしいと思っている。
- ・現在94才です。筆談とジェスチャーで意思の疎遠ができます。今さら手話を覚える必要は無いと感じます。
- ・病院の受付呼び出しがマイクの時補聴器を付けていてもなおさら聞き取れない。受付の人に耳が遠いからと伝えても、次の人には伝わっていない。カルテの表紙に耳障害者の表示があれば良いかと思っています。(こちらからお願いして、受付の人が筆談してくれる時には大変助かっています)

問27 その他ご意見などがあれば自由にお書きください。

※提出されたご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しております。

◆自由記載意見(その2)

- ・手話言語のみに限らず、通して、ろう者の文化や生活の紹介や知る機会が増える事を期待している。ろう者夫婦の家庭に聞こえる子(コーダ)がいる世帯もあるので、幼、小、中、幅広い世代の理解が進むと良いと思う。教育の場、生活の場、医療の場などいろいろな場面へ訴えていくためにも条例には期待大。時に幼い子。乳幼児に手話に触れないと第1言語の習得がかなり遅れてくることを知って頂きたい。
- ・安城市に聾学校もしくは難聴センターを作してほしい。
- ・町内会のイベントに参加しても相手にしてくれない。遠慮がちになってたから。もし、災害が起きたら近所に協力してくれたら良いなと思っています。情報が入ってこれば安心して暮らせる社会になってほしい。
- ・盲ろうのため理解を広めてほしい。
- ・109番、110番への連絡が分からない。FAX付電話あり。スマホ使用可、ただしSMS、ラインのみ、通話は不可です。
- ・50代で市の手話講座に通ったが数回でやめた。
- ・まだまだ差別が多いですね。(特に病院での差別を感じます)
- ・聴覚障害でコミュニケーションを理解してほしいです。手話言語条例を広げて皆に分かってもらえるようにしたいです。
- ・手話通訳派遣で24時間対応があると助かります。緊急病院とか。救急車の中にはすでに手話が必要な方のために手話通訳士も一緒にいるそんな仕組みのある世の中が当たり前になってほしい。
- ・大きな病院では、担当医や他の方などの呼ばれた時のタイミングも分からないので、手話のできる人が居て頂けるのが助かります。今、居ないので手話のできる人がいて欲しいなという意見はあります。
- ・手話を知ってほしいためには手話TVを増やして欲しい。働く環境を作って欲しい。補聴器が高い。補聴器をつければ必ずしも会話が成立しているわけではない。
- ・手話はコミュニケーションの一つであるが本当に狭い世界であると認識しなければいけない。条例を決めて、「この人はこうだ」と決めつけるのはあまりにも気持ちが良くない。ただ、手話を知るのは良いが、本当に覚える気がないと無理ですよ？
- ・今、母は老人福祉センターに入所しているが入所施設での手話教室など取り入れてほしい。
- ・活動を広めて欲しい。良い町になることを期待しています。

等

共通

問27 その他ご意見などがあれば自由にお書きください。

※提出されたご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しております。

◆自由記載意見(その3)

- ・手話は難しいと思います。自分は口話手話で覚えました。健聴者と話していくうちに手話は忘れてしまいました。ろう者に対する周りの理解は、なかなか得られるものではないと思います。それでも人それぞれ、お互いに思いやり互いに助け合う世界になって欲しいと願います。
- ・私は基本口話で会話するようにしていますが、やはり聞き慣れてない、初めて会話する方だと通じないことがよくあります。例えば、通勤で電車が遅れてる時に流れてくるアナウンスが聞こえない為、どういう状況かわからないことがあります。
- ・筆談を気軽にできる体制が欲しい。(聞き間違いや聞き逃しがあるため)
- ・市役所、病院で診察時、手話通訳が必要ですが、手話通訳者は出張をしなくてチャットが出来ると便利と思います。機械でAI手話通訳機能があるiPad等があれば良いです。飲食店は寿司店でよく使う注文とかタッチiPadのような、各店など全てで付けて欲しいです。
- ・以前は聴こえていたが、現在は難聴であり、手話を学びたい。社協の手話講座あるが、もっと初心者向けの講座がほしい。(初心者で40回(およそ1年間)他の多少知識のある参加者についていけるか不安を感じる面がある。5~6回程度であればまだ良いが。)参加者のレベルを揃えて、ステップアップしていける仕組みがあると良いと思う。「健聴者」「難聴者」等でクラス編成を分けてもらえると良い。
- ・現在年中で保育園に通っています。令和5年度は、小学校入学に向けて方針を決めなければいけないと言われました。3歳児健診で聴覚の異常を指摘され病院で検査してもらい、補聴器を使用することになりましたが、言葉を話す能力に遅れがあります。保育園では先生方やお友達のサポートもあり、問題なく過ごせているようですが、小学校では勉強も始まるため不安です。できれば今通っている保育園のお友達もいるので、小学校の一般クラスに通える良いのかとも思いますが、環境も先生も変わるので馴染めるか、授業についていけるか不安があります。今、あんステップの方とも相談していますが、学校の方とも相談して理解して頂けると良いなと思います。何より子供が楽しく、安心して過ごせると良いなと思います。
- ・手話の入口として、アプリ等を使って「指文字」から教えるのはどうでしょうか? 「飛沫を飛ばさない会話手段」にもなるので、コロナ禍だからこそ重宝します。小学校で、給食時に「マスクはずして話す時は、声を出さずに指文字使って」と指導したら、楽しみながらあっという間に覚えられます。ぜひご検討を!! 「手を使って会話ができる事」を、(小さいうちから)知ってもらう事が大切だと思います。

等

共通